



道路管理者が行う



子どもを守る 交通安全対策 事例集



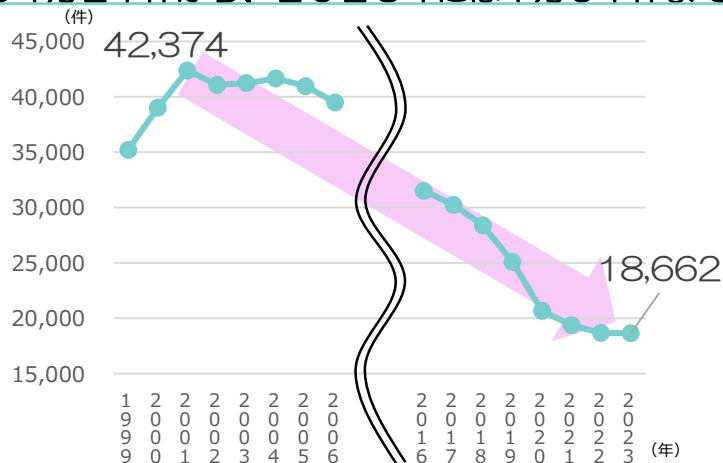
はじめに

- 静岡県の交通安全対策は、道路管理者と交通管理者の静岡県警察が、相互に連携して取り組んでおり、その結果、1年間の交通事故発生件数は、ピークであった2001年の4万2千件から、2023年には1万9千件まで減少しています。
- また、2023年は前年と比較して、「発生件数」、「死者数」及び「負傷者数」がすべて減少した「トリプル減」となり、さらには、近年、全国ワースト1を続けていた「人口10万人当たりの人身事故件数」は、ワースト1から脱却するなど、取組について一定の成果が見られています。
- 一方で、将来を担う子どもが巻き込まれる事故は、依然、後を絶たないことから、交通安全対策について、より一層進めていかなければなりません。
- 本事例集は、道路管理者が取組をさらに推進するための一助となるよう、これまで静岡県や県内市町の道路管理者が行った、通学路や未就学児の移動経路における交通安全対策77取組についてまとめたものです。
- 県民の皆様も、本事例集に触れていただき、道路管理者の取組を知ること、交通安全対策への御理解や御協力をいただく機会となれば幸いです。



県内の年間交通事故発生件数

- 1年間の年間交通事故発生件数は、ピークだった2001年の4万2千件から、2023年には1万9千件まで減少



出典：静岡県警察本部HP「交通年鑑」をもとに作成

県内の2022年と2023年の交通事故発生状況

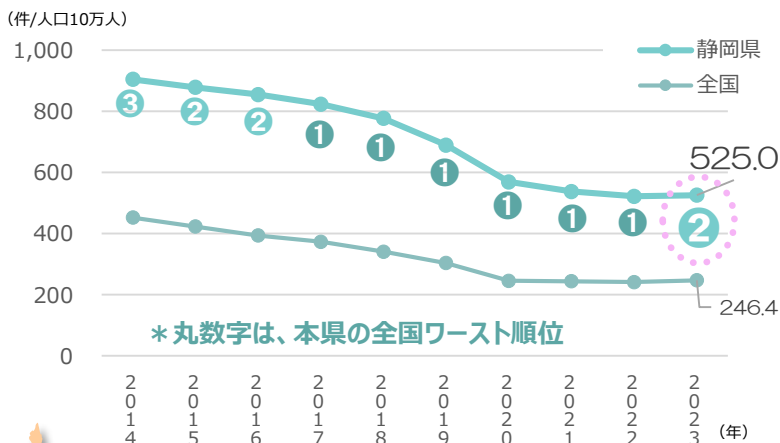
- 2023年は、前年と比較して、「① 発生件数」、「② 死者数」及び「③ 負傷者数」がすべて減少 ▶ 「トリプル減」

項目	① 発生件数 (件/年)	② 死者数 (人/年)	③ 負傷者数 (人/年)
2022年 (令和4年)	18,678	83	23,662
2023年 (令和5年)	18,662	70	23,573
増減 (2023年-2022年)	-16	-13	-89

出典：静岡県警察本部HP「交通年鑑」をもとに作成

本県の人口10万人当たりの人身事故件数

- 近年、全国ワースト1を続けていた「人口10万人当たりの人身事故件数」は、2023年、ワースト1から脱却

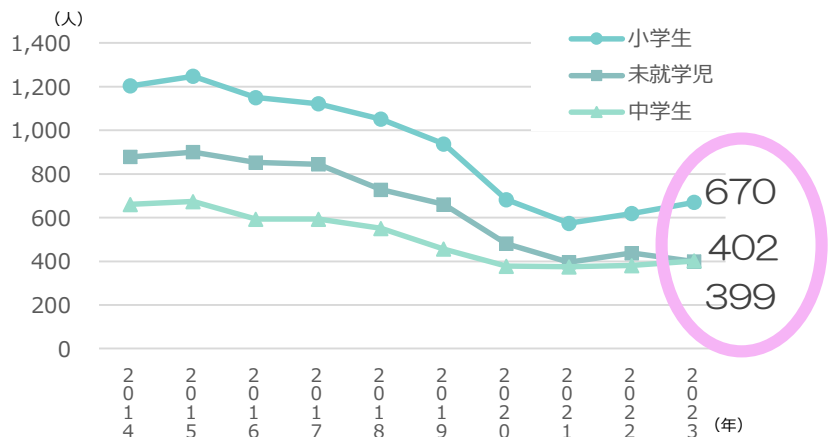


* 丸数字は、本県の全国ワースト順位

出典：静岡県警察本部HP「交通年鑑」をもとに作成

県内の交通事故による子どもの死傷者数

- 将来を担う子どもが巻き込まれる事故は、依然、後を絶たない



出典：静岡県警察本部HP「交通年鑑」をもとに作成



目次

1 一般部（単路部）の対策

（１）歩行空間の確保	４
（２）自動車への注意喚起	４４
（３）自動車の視認性向上	５８
（４）自転車と歩行者の接触防止	６１

2 交差点部の対策

（１）歩行空間の確保	６５
（２）自動車への注意喚起	８３
（３）自動車の視認性向上	９３



1 一般部（単路部）の対策

(1) 歩行空間の確保



1 一般部（単路部）の対策

(1) 歩行空間の確保

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例 1	静岡県	一般県道 下田南伊豆線	下田市 6丁目	転落防止柵取替
事例 2	静岡県	一般県道 下田南伊豆線	下田市 6丁目	転落防止柵取替
事例 3	静岡県	一般県道 富士停車場伝法線	富士市 伝法	転落防止柵設置
事例 4	静岡県	一般県道 伊久美藤枝線	藤枝市 上藪田	転落防止柵設置
事例 5	静岡県	主要地方道 吉田大東線	牧之原市 勝間	歩道設置
事例 6	静岡県	国道150号	焼津市 道原	転落防止柵設置
事例 7	静岡県	主要地方道 焼津森線	藤枝市 広幡	横断防止柵設置
事例 8	静岡県	主要地方道 袋井春野線	森町 飯田	ガードパイプ設置
事例 9	静岡県	一般県道 袋井小笠線	袋井市 豊沢	歩道設置等
事例10	静岡県	一般県道 大東菊川線	菊川市 高橋	歩道設置
事例11	静岡県	主要地方道 豊橋湖西線	湖西市 岡崎	歩道設置
事例12	静岡県	国道42号	湖西市 白須賀	歩道設置
事例13	河津町	河津町道 見高浜線	河津町 見高	草刈り
事例14	沼津市	沼津市道 0223号線	沼津市 大岡	外側線設置等
事例15	三島市	三島市道 芙蓉台28号線	三島市 芙蓉台	外側線設置
事例16	三島市	三島市道 壱町田萩線	三島市 徳倉4丁目	外側線設置等
事例17	三島市	三島市道 東町1号線	三島市 東町	外側線設置等
事例18	御殿場市	御殿場市道 0251号線	御殿場市 北畑	道路拡幅
事例19	裾野市	裾野市道 3172号線	裾野市 下和田	歩道設置等
事例20	裾野市	裾野市道 2-45号線	裾野市 平松	歩道設置、踏切拡幅



1 一般部（単路部）の対策

(1) 歩行空間の確保

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例21	伊豆市	伊豆市道 越路嵐山線	伊豆市 修善寺	歩道整備
事例22	清水町	清水町道 527号線	清水町 徳倉	幅員再構成等
事例23	清水町	清水町道 232号線	清水町 長沢	グリーンベルト設置等
事例24	富士宮市	富士宮市道 長貫19号線	富士宮市 長貫	路側帯拡幅
事例25	富士市	富士市道 水戸島二丁目6号線	富士市 水戸島二丁目	歩行空間の確保
事例26	富士市	富士市道 神谷下村3号線	富士市 神谷	通学路の変更等
事例27	焼津市	焼津市道 木屋川北島橋線	焼津市 本中根	ポストコーン設置
事例28	藤枝市	藤枝市道 6地区363号線ほか	藤枝市 下之郷	歩行空間の確保
事例29	藤枝市	藤枝市道 2地区173号線	藤枝市 高柳	歩行空間の確保
事例30	牧之原市	牧之原市道 勝間田静波線	牧之原市 勝俣	グリーンベルト設置
事例31	牧之原市	牧之原市道 鹿島追廻線	牧之原市 道場	グリーンベルト設置
事例32	吉田町	吉田町道 中原能満寺線	吉田町 神戸	防護柵の取替
事例33	磐田市	磐田市道 見付142号線	磐田市 見付	側道橋の設置
事例34	掛川市	掛川市道 仁藤町山口橋線	掛川市 成滝	側道橋の設置等
事例35	袋井市	袋井市道 北574号線	袋井市 浅羽山の手	歩道設置等
事例36	菊川市	菊川市道 野添堂坂2号線	菊川市 加茂	側溝蓋設置
事例37	湖西市	湖西市道 横須賀橋郷北線	湖西市 鷺津	歩道設置



【事例1】一般県道 下田南伊豆線（下田市6丁目）

下田市立下田小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和3年点検箇所)

【具体策】

転落防止柵の取替

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,700千円	令和4年度	令和5年度

【課題と整備効果】

腐食かつ高さが1.1mまで満たない転落防止柵を取り換えることで、通学する小学生の転落を未然に防いだ。

【苦労した点、工夫した点等】

2車線に満たない狭隘な区間での通行規制をしながらの作業に苦労した。

問い合わせ

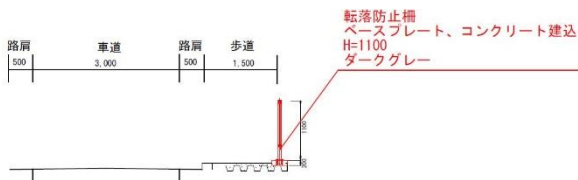
静岡県下田土木事務所工事第1課

TEL:0558-24-2114

MAIL: shimodo-kouji1@pref.shizuoka.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例2】一般県道 下田南伊豆線（下田市6丁目）

下田市立下田小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和3年点検箇所)

【具体策】

転落防止柵の取替

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,760千円	令和4年度	令和5年度

【課題と整備効果】

腐食かつ高さが1.1mまで満たない転落防止柵を取り換えることで、通学する小学生の転落を未然に防いだ。

【苦勞した点、工夫した点等】

2車線に満たない狭隘な区間での通行規制をしながらの作業に苦勞した。

問い合わせ

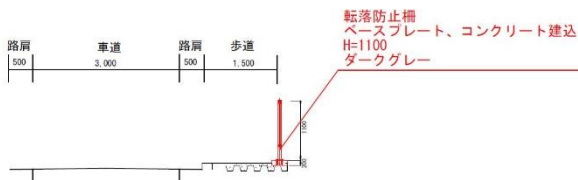
静岡県下田土木事務所工事第1課

TEL:0558-24-2114

MAIL: shimodo-kouji1@pref.shizuoka.lg.jp



標準横断面図



Before ▶ After



【事例3】一般県道 富士停車場伝法線（富士市 伝法）

あおば保育園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年8月28日）

問い合わせ
 静岡県富士土木事務所工事課
 TEL：0545-65-2894
 MAIL：fujido-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】

転落防止柵の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
3,100千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

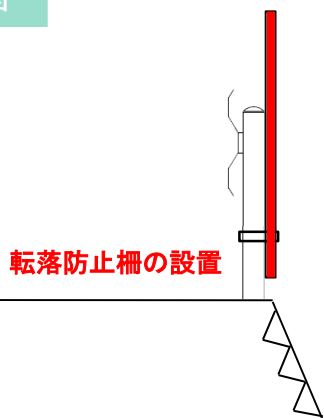
園児がお散歩する際、ガードレール奥側に転落する恐れがあった。
 転落防止柵の設置によって転落の危険性がなくなり、安心して歩行できるようになった。

【工夫した点】

既設ガードレールを活用して転落防止柵を設置することで、基礎部分を省略して事業費を縮減するとともに、安全対策を迅速に実施することができた。



標準横断図



Before ▶ After



【事例4】一般県道 伊久美藤枝線（藤枝市 上藪田）

藤枝市葉梨小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年9月21日）

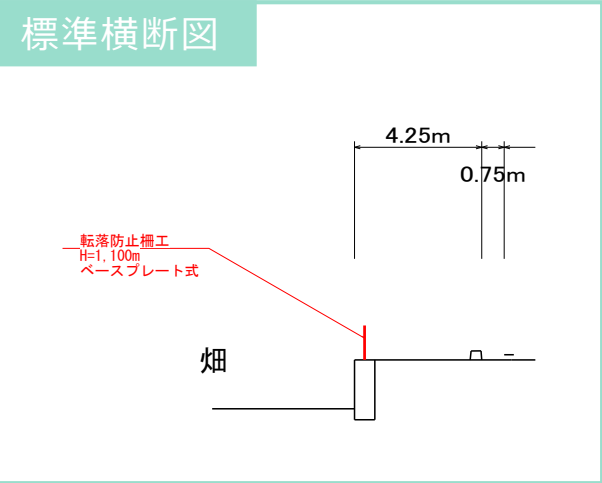
問い合わせ
 静岡県島田土木事務所工事第2課
 TEL: 0547-37-1086
 MAIL: shimada-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】
 転落防止柵の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
5,000千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】
 通学路の歩道に転落防止柵がなく、登下校時に児童が隣接する畑への転落事故が懸念されていた。転落防止柵を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦勞した点、工夫した点等】
 通学路の施工であったため、工事中の児童の安全確保を優先し登下校時間帯を避けた時間帯での施工となり、工程管理に苦慮した。



【事例5】 主要地方道 吉田大東線 (牧之原市 勝間)

牧之原市勝間田小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成26年8月)

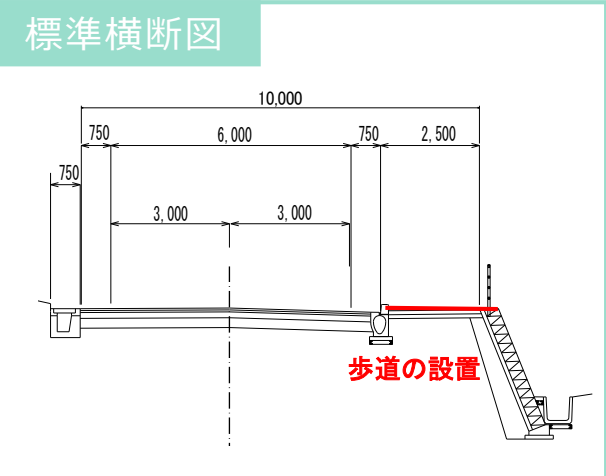
問い合わせ
 静岡県島田土木事務所工事第3課
 TEL: 0547-37-1087
 MAIL: shimada-kouji3@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】
 歩道の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
135,000千円	平成30年度	令和4年度

【課題と整備効果】
 通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】
 歩道拡幅部が軟弱地盤であったため、その対策(改良方法)等について苦労した。



【事例6】国道150号（焼津市道原）

焼津市立大富小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和4年8月25日）

【具体策】

転落防止柵の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
2,400千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路の田圃との境界に転落防止柵がなく、登下校時に児童の田圃への転落が懸念されていた。転落防止柵を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

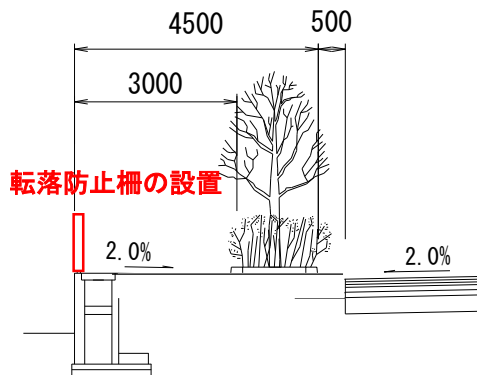
【苦勞した点、工夫した点等】

児童の通学に支障とならないよう施工時期を長期休暇中とするなど、児童への安全を最優先に工程調整及び安全管理を行った。

問い合わせ
 静岡県島田土木事務所工事第2課
 TEL: 0547-37-1086
 MAIL: shimada-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例7】 主要地方道 焼津森線（藤枝市 広幡）

藤枝市立広幡小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和4年11月28日)

【具体策】

横断防止柵の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
2,480千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路の歩車道境に横断防止柵がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。横断防止柵を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

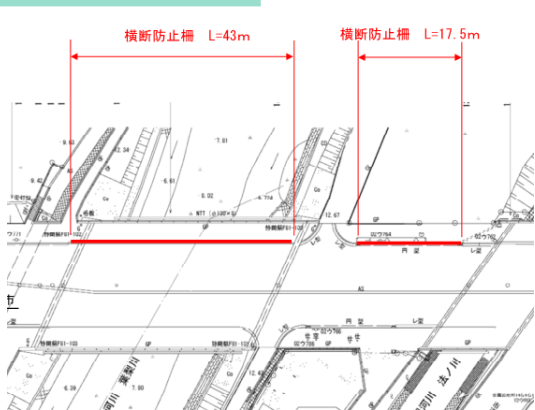
【苦労した点、工夫した点等】

児童の通学に支障とならないよう施工時期を長期休暇中とするなど、児童への安全を最優先に工程調整及び安全管理を行った。

問い合わせ
 静岡県島田土木事務所工事第2課
 TEL: 0547-37-1086
 MAIL: shimada-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp



平面図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例8】主要地方道 袋井春野線（森町 飯田）

飯田幼稚園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月11日）

問い合わせ
 静岡県袋井土木事務所企画検査課
 TEL: 0538-42-3216
 MAIL: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】

ガードパイプの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
700千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

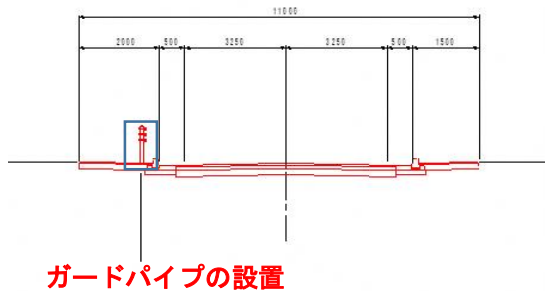
T字交差点の歩車道境界にガードパイプを設置したことにより、右折車両の歩道への進入を防止し、園児が安心して通行できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

設置範囲について、T字交差点右折車両が曲がり切れずに歩道に進入することをイメージし、設置延長を長くした。



標準横断図



Before ▶ After



【事例9】一般県道 袋井小笠線（袋井市 豊沢）

高南小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和元年度)

【具体策】

- 歩道の設置
- ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
150,000千円	令和2年度	令和4年度

【課題と整備効果】

工業団地が整備され大型車両の交通があるが歩道がなく線形がよくないため登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

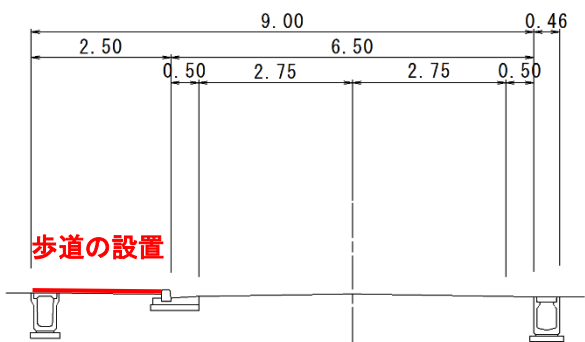
【苦労した点、工夫した点等】

近くに大学があるため、バスが頻繁に通行しており、通過交通を通すことに苦労した。

問い合わせ
 静岡県袋井土木事務所企画検査課
 TEL:0538-42-3216
 MAIL: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例10】一般県道 大東菊川線（菊川市 高橋）

菊川市立小笠南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年8月25日）

【具体策】

歩道の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
25,623千円	令和4年度	令和5年度

【課題と整備効果】

交通量が多く大型車も多いため歩行者と接触の危険性があったが、縁石及びラバーコーンで歩行空間を確保した。

【苦労した点、工夫した点等】

歩道幅員W=2.0mを確保できない区間については、縁石に代わりラバーコーンを設置することで車道との分離を図った。

問い合わせ

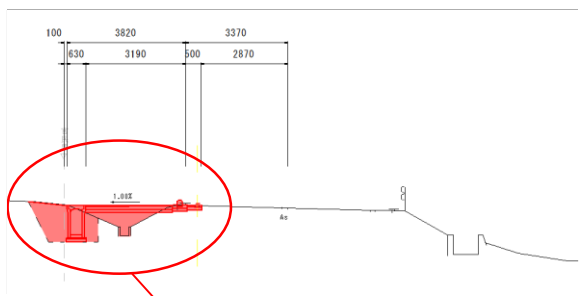
静岡県袋井土木事務所掛川支所工事第2班

TEL: 0537-22-6275

MAIL: fukudo-kakegawa@pref.shizuoka.lg.jp



標準横断図



歩行空間整備

Before ▶ After



【事例11】 主要地方道 豊橋湖西線（湖西市 岡崎）

湖西市立岡崎小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和2年8月28日)

問い合わせ
 静岡県浜松土木事務所工事課
 TEL: 053-458-7278
 MAIL: hamado-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】

歩道の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
10,000千円	令和3年度	令和4年度

【課題と整備効果】

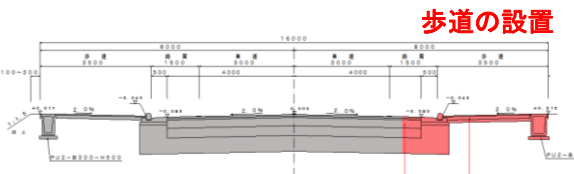
通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

歩道舗装に透水性舗装を採用し、排水機能に優れ、維持管理にも適した安全な歩行空間整備に努めた。



標準横断面図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例12】国道 42号（湖西市 白須賀）

湖西市立白須賀小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年10月2日）

問い合わせ
 静岡県浜松土木事務所都市計画課
 TEL: 053-458-7276
 MAIL: hamadotoshi1@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】

歩道の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
164,000千円	令和3年度	令和5年度

【課題と整備効果】

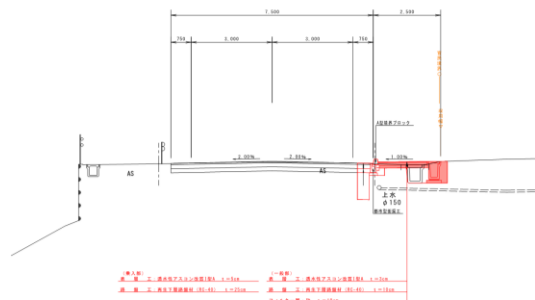
通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。

【苦勞した点、工夫した点等】

歩道整備区間の道路線形を変更し歩行者等の安全を確保した。



標準横断図



Before ▶ After



【事例13】河津町道 見高浜線（河津町 見高）

伊豆今井浜病院ひまわり保育所に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月25日）

問い合わせ
河津町建設課
TEL: 0558-34-1952
MAIL: kensetsu@town.kawazu.shizuoka.jp

【具体策】

草刈りの実施

事業費	工事開始年度	工事完了年度
0円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

路側帯が草でおおわれていたため、園児が歩行する際に車道にはみ出して歩く必要があり、車との接触が懸念されていた。路肩の草がなくなったことにより、路側帯の幅員が確保され園児が通行しやすくなった。

【苦勞した点、工夫した点等】

道幅が広くなく、カーブ部分であることから、作業スペースがあまり確保できず、苦勞した。



Before ▶ After



整備前



整備後

沼津市立大岡南小学校における交通安全対策(合同点検:令和3年12月11日)

【具体策】

外側線の設置
グリーンベルトの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,000千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

通学路に指定されている路線でありグリーンベルトも設置してあるが、カーブで見通しが悪く、車両から生徒が見えず危険な状況だった。そのため道路の反対側に外側線とグリーンベルトを設置して通学することでお互いに視認性が向上して車両の速度低下につながり安全性が向上して生徒が安心して登下校をできるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】

道路の構造上既設のグリーンベルト上を歩くと最終的に反対側に歩道があるため横断しなくてはいけない状況であった。横断する箇所の先がカーブになっており、車両が急に出てくる状況で危険性があったため手前の安全な箇所で反対側に横断するように学校から生徒に指導を行い安全確保に努めた。

問い合わせ
沼津市建設部道路管理課
TEL:055-934-4790
MAIL:doukan@city.numazu.lg.jp



Before ▶ After



【事例15】三島市道路 芙蓉台28号線（三島市芙蓉台）

恵明キッズフヨウビレッジに通う園児の散歩コースにおける交通安全対策(合同点検: 令和元年9月5日)

問い合わせ
三島市土木課
TEL: 055-983-2638
MAIL: doboku@city.mishima.shizuoka.jp

【具体策】

外側線の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
24千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

外側線を設置したことにより、ドライバーに対する車両誘導効果があった。また、以前は路側帯がなかったが、路側帯の設置により、対策前より園児が安心して通行できるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】

合同点検後、緊急修繕費の活用により速やかに対策を実施し、園児の安全を確保した。(令和元年10月までに対策済み)



Before ▶ After



【事例16】三島市道 壱町田萩線（三島市 徳倉4丁目）

三島市立徳倉小学校・幼稚園通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年10月6日)

【具体策】

外側線・グリーンベルト
の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
112千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

歩道のない道路に外側線とグリーンベルトが明示されているが、経年劣化等により損傷しているため、再施工することで車両への注意喚起を行うことができた。

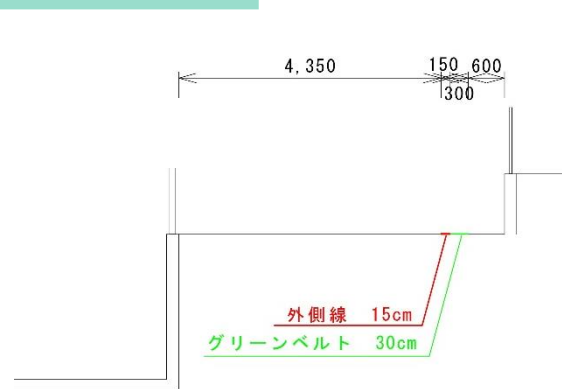
【苦勞した点、工夫した点等】

外側線とグリーンベルトを再設置することで、児童の歩行空間確保やドライバーへの注意喚起を促し、安全確保に努めた。

問い合わせ
三島市都市基盤部土木課
TEL:055-983-2638
MAIL: doboku@city.mishima.shizuoka.jp



標準横断図



Before ▶ After

整備前



整備後



【事例17】三島市道 東町1号線（三島市 東町）

三島市立東小学校・東幼稚園通学路における交通安全対策（合同点検：令和5年9月29日）

問い合わせ
三島市都市基盤部土木課
TEL：055-983-2638
MAIL：doboku@city.Mishima.shizuoka.jp

【具体策】

外側線・グリーンベルト
の設置

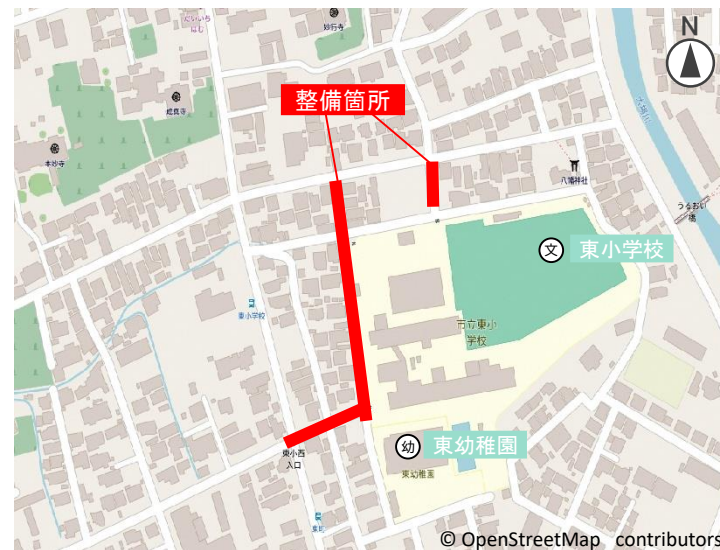
事業費	工事開始年度	工事完了年度
468千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

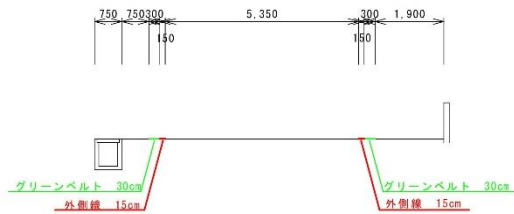
歩道のない道路に外側線とグリーンベルトが明示されているが、経年劣化等により損傷しているため、再施工することで車両への注意喚起を行うことができた。

【苦勞した点、工夫した点等】

外側線とグリーンベルトを再設置することで、児童の歩行空間確保やドライバーへの注意喚起を促し、安全確保に努めた。



標準横断図



Before ▶ After



【事例18】御殿場市道 0251線（御殿場市 北畑）

御殿場市立原里小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成24年10月9日）

【具体策】

道路拡幅

事業費	工事開始年度	工事完了年度
70,000千円	平成30年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路の幅員が狭く、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。道路拡幅し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

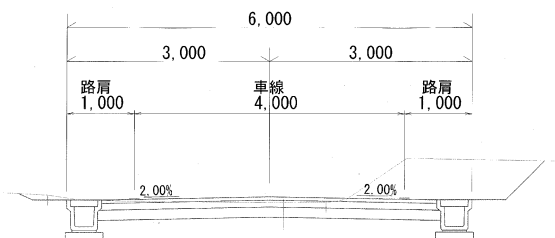
【苦勞した点、工夫した点等】

丁寧な説明を心掛け、トラブルも少なく用地を取得できた。

問い合わせ
御殿場市都市建設部管理維持課
TEL: 0550-82-4233
MAIL: kanriji@city.gotemba.lg.jp



標準横断図



舗装工
表層工 密粒73> t=50
上層路盤工 M-30 t=100
下層路盤工 再生路盤材 t=150

Before ▶ After

整備前



整備後



【事例19】裾野市道 3172号線（裾野市 下和田）

裾野市立富岡第二小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年8月27日）

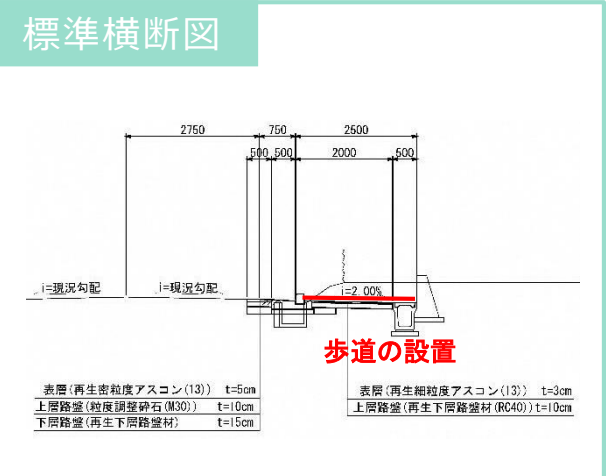
問い合わせ
 裾野市建設部建設課
 TEL: 055-995-1827
 MAIL: kensetsu@city.susono.shizuoka.jp

【**具体策**】
 歩道の設置
 ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
5,970千円	令和元年度	令和元年度

【**課題と整備効果**】
 通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【**苦勞した点、工夫した点等**】
 歩道を設置するだけでなく、交差点部にラバーポールを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。



【事例20】裾野市道 2-45号線（裾野市 平松）

裾野市立南小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成29年12月4日)

問い合わせ
 裾野市建設部建設課
 TEL: 055-995-1827
 MAIL: kensetsu@city.susono.shizuoka.jp

【具体策】

歩道の設置
 踏切の拡幅

事業費	工事開始年度	工事完了年度
102,784千円	令和元年度	令和5年度

【課題と整備効果】

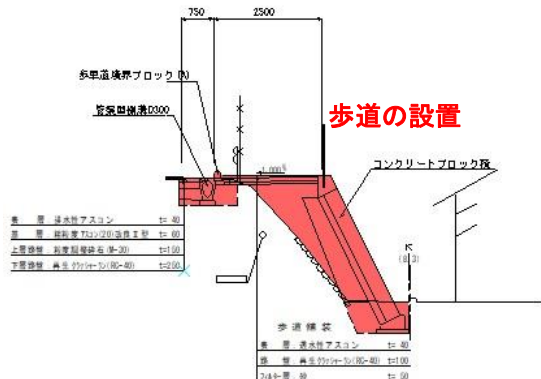
通学路上の踏切に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

踏切改良工事により全面通行止め期間が発生し周辺の交通に多大な影響があった。迂回路看板の設置を増やしたり、企業や公共交通へ通知文を送り周知を図った。



標準横断図



Before ▶ After



踏切の拡幅、歩道の設置

【事例21】伊豆市道 越路嵐山線（伊豆市 修善寺）

伊豆市立修善寺小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成30年2月28日）

問い合わせ
伊豆市建設部建設課
TEL: 0558-83-5201
MAIL: kensetu@city.izu.shizuoka.jp

【具体策】

歩道整備

事業費	工事開始年度	工事完了年度
580百万円	平成30年度	令和4年度

【課題と整備効果】

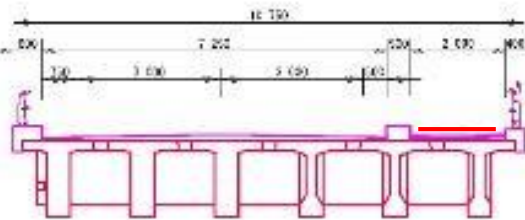
南側市道は幅員が狭く歩道整備がされていないため、御幸橋に歩道を新設することで、対岸の歩道設置済み路線へと通学路を切り替え歩行者の安全を確保する。

【苦勞した点、工夫した点等】

観光地であるため、周辺施設と施工時の騒音・交通規制など入念な調整を行った。



標準横断図



歩道の設置

Before ▶ After

整備前



整備後



【事例22】 清水町道 527号線（清水町 徳倉）

清水町立南小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成26年9月30日)

問い合わせ
清水町建設課
TEL: 055-981-8229
MAIL: koumu@town.shizuoka-shimizu.lg.jp

【**具体策**】

幅員の再構成
(両側歩道→片側歩道)
ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
9,304千円	平成26年度	平成28年度

【**課題と整備効果**】

歩行者のすれ違いが困難な両側歩道であったが、片側に集約し2.0mの歩道を整備したことで、歩行者の安全を確保できた。

【**苦勞した点、工夫した点等**】

幅員の再構成をするだけでなく、交差点部にラバーポールを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。

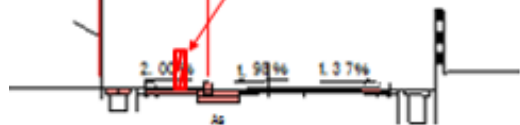


標準横断図

NO.4
FH=12.44
GH=12.42

幅員の再構成
W=2.0m

ラバーポールφ80
H650



Before ▶ After

整備前



整備後



【事例23】清水町道 232号線（清水町 長沢）

清水町立西小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成26年9月30日)

問い合わせ
清水町建設課
TEL: 055-981-8229
MAIL: koumu@town.shizuoka-shimizu.lg.jp

【具体策】

グリーンベルトの設置
側溝蓋の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
12,334千円	平成26年度	平成28年度

【課題と整備効果】

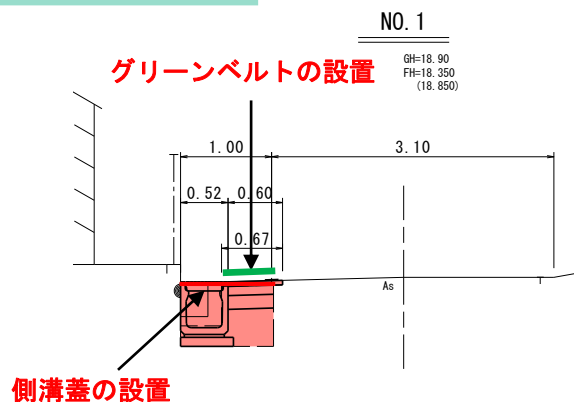
路側帯にグリーンベルトを設置したことにより、児童が安心して登下校できるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】

工事箇所が小学校に隣接していることから、登下校時の通学児童の安全確保のため、交通誘導員を多く配置した。



標準横断図



Before ▶ After



【事例24】富士宮市道 長貫19号線（富士宮市長貫）

富士宮市立芝富小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年11月13日）

問い合わせ
 富士宮市道路課調査修繕係
 TEL：0544-22-1240
 MAIL：doro@city.fujinomiya.lg.jp

【具体策】

路側帯の拡幅

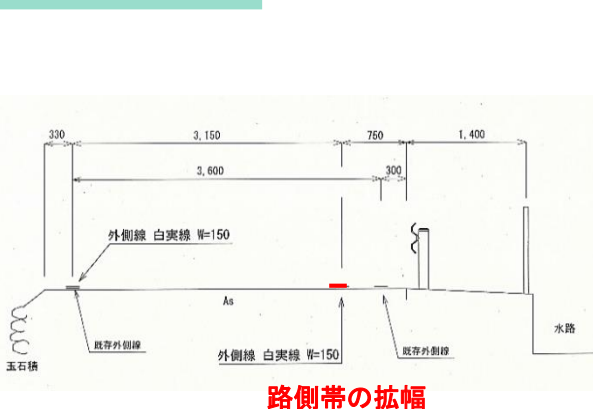
事業費	工事開始年度	工事完了年度
900千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

路側帯が狭く歩行する際に車道にはみ出して歩く必要があり、車との接触が懸念された。路側帯の拡幅により、歩行空間が広がり、安心して登下校できるようになった。



標準横断図



Before ▶ After



【事例25】 富士市道 水戸島二丁目6号線（富士市 水戸島二丁目）

富士市立富士第二小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年9月12日,16日）

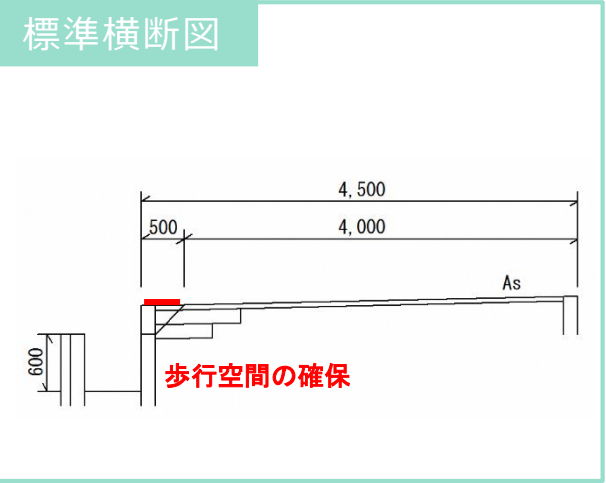
問い合わせ
 富士市道路維持課
 TEL: 0545-55-2832
 MAIL: ke-douroji@div.city.fuji.shizuoka.jp

【具体策】
 歩行空間の確保

事業費	工事開始年度	工事完了年度
2,500千円	平成29年度	平成31年度

【課題と整備効果】
 歩行者の通行する場所が狭く車両が通過する際に水路へ落下する危険があったが、路肩の段差を解消することでリスクを軽減させた。

【苦労した点、工夫した点等】
 当初は中長期対策の水路の暗渠化であったが、事業費および事業期間が掛かるため、関係者と再協議の結果、短期対策の路肩の整備をすることとなった。



【事例26】 富士市道 神谷下村3号線 (富士市 神谷)

富士市立須津小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和3年10月15日)

問い合わせ
 富士市建設部道路維持課
 TEL: 0545-55-2832
 MAIL: ke-douroji@div.city.fuji.shizuoka.jp

【具体策】

- ①通学路の変更
- ②防護柵の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
4,000千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

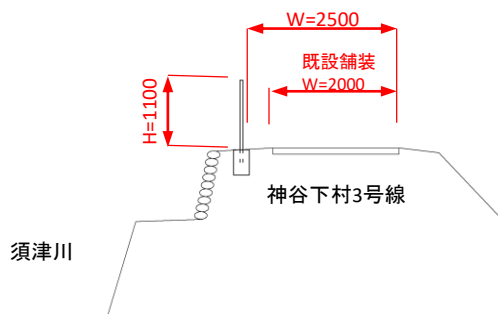
以前の通学路は交通量が多い道路の横断歩道(押ボタン信号有)に待機スペースがなかったため通学路を変更した。変更後の道路は河川に転落する恐れがあったため、防護柵を設置して児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

過去何十年と変更したことのなかった通学路を変更することに同意を得るために学校、地域との調整を念入りに行った。



標準横断図



Before ▶ After



横断歩道の待機場所がない(旧通学路)

整備前



河川に転落する恐れがある(新通学路)



整備後

①通学路変更

②防護柵の設置

【事例27】焼津市道 木屋川北島橋線（焼津市 本中根）

焼津市立大富小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和3年9月7日)

問い合わせ
 焼津市建設部道路課
 TEL: 054-626-1121
 MAIL: douro@city.yaizu.lg.jp

【具体策】

ポストコーン設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
152千円	令和3年度	令和4年度

【課題と整備効果】

国道150号から左折してきた車が、通常の走行ルートよりも内側に沿って走行してしまうため、歩道橋を降りてきた歩行者との事故が懸念されていた。ポストコーンを設置することで、運転者の走行ルートの意識を変え、内側を走らないようにさせることで、安全な歩行空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

併せて、横断歩道の引き直しを警察へ依頼し、歩行者の安全確保に努めた。



平面図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例28】藤枝市道 6 地区363号線ほか（藤枝市 下之郷）

藤枝市立葉梨小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成30年12月21日)

問い合わせ
 藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
 TEL:054-643-3169
 MAIL:doro@city.fujieda.shizuoka.jp

【具体策】

歩行空間の確保

事業費	工事開始年度	工事完了年度
88,766千円	令和元年度	令和5年度

【課題と整備効果】

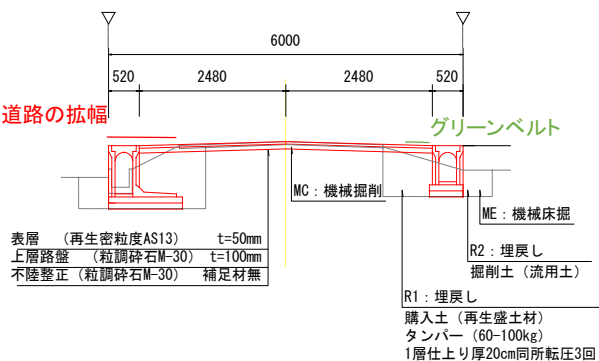
通学路の幅員が狭く、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。道路を拡幅し、車とのすれ違いを可能にすることで児童が安心して登下校できる空間にした。

【苦労した点、工夫した点等】

道路を拡幅し歩行空間を確保するだけでなく、グリーンベルトを設置することで、運転手が通学路であることを認識し速度を抑制させ更なる児童の安全確保に努めた。



標準横断図



Before ▶ After



【事例29】藤枝市道 2地区173号線（藤枝市 高柳）

藤枝市立高洲小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成30年12月20日)

【具体策】

歩行空間の確保

事業費	工事開始年度	工事完了年度
53,955千円	令和3年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路の幅員が狭く、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。道路を拡幅し、車とのすれ違いを可能にすることで児童が安心して登下校できる空間にした。

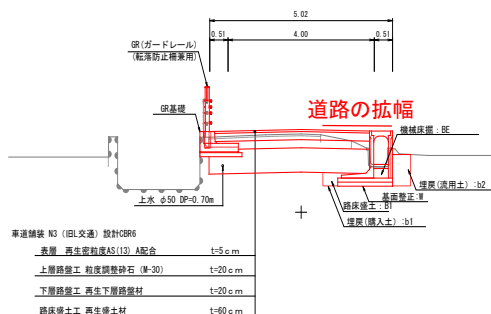
【苦労した点、工夫した点等】

道路を拡幅し歩行空間を確保するだけでなく、既設の転落防護柵からガードレールと一体型の防護柵を設置することで、歩行者だけでなく運転者の安全確保にも努めた。

問い合わせ
 藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
 TEL: 054-643-3169
 MAIL: doro@city.fujieda.shizuoka.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例30】牧之原市道 勝間田静波線 (牧之原市 勝俣)

牧之原市立川崎小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成26年10月23日)

問い合わせ
 牧之原市建設部建設課
 TEL: 0548-53-2628
 MAIL: kensetsu@city.makinohara.lg.jp

【具体策】

グリーンベルトの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
17,383千円	平成29年度	令和4年度

【課題と整備効果】

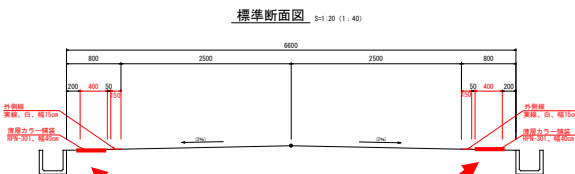
通学路に歩道がなく、通行時間帯には歩行者自転車、交通車両が行き交い危険な状況であったが、グリーンベルトを設置したことにより、ドライバーに対して歩行者への注意を促し、対策前より安心して登下校できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

幅員が狭く、車両が歩行空間にも入り込んでくることから、グリーンベルトだけではなくラバーポールも設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。



標準横断面図



Before ▶ After



【事例31】牧之原市道 鹿島追廻線（牧之原市 道場）

牧之原市立川崎小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和4年11月21日）

問い合わせ
 牧之原市建設部建設課
 TEL: 0548-53-2628
 MAIL: kensetsu@city.makinohara.lg.jp

【具体策】

グリーンベルトの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
3,335千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

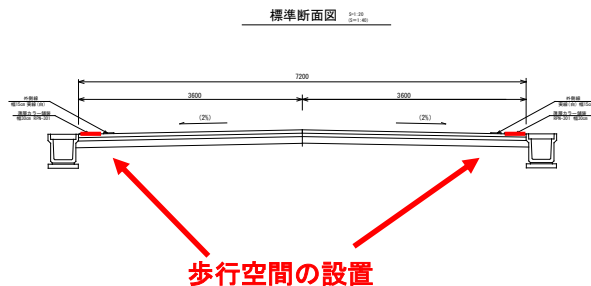
通学路に歩道がなく、通行時間帯には歩行者自転車、交通車両が行き交い危険な状況であったが、グリーンベルトを設置したことにより、ドライバーに対して歩行者への注意を促し、対策前より安心して登下校できるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】

グリーンベルトを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。



標準横断面図



Before ▶ After



【事例32】吉田町道 中原能満寺線（吉田町 神戸）

吉田町立自彊小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年7月28日)

問い合わせ
吉田町建設課
TEL:0548-33-2123
MAIL:kensetsu@town.yoshida.shizuoka.jp

【具体策】

防護柵の取替

事業費	工事開始年度	工事完了年度
3,005千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

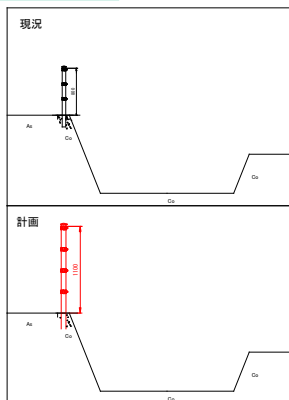
既設防護柵の腐食が進行していて、かつ高さも低いものだった。
防護柵を新調することで、安心して歩行できる空間を創出した。

【苦勞した点、工夫した点等】

環境色であるダークブラウンを採用し、環境との調和を意識した。



標準横断図



Before ▶ After



整備前

防護柵の撤去



整備後

防護柵の設置

【事例33】 磐田市道 見付142号線（磐田市 見付）

磐田市立城山中学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和2年9月15日）

問い合わせ
 磐田市道路河川課
 TEL: 0538-37-4897
 MAIL: dorokasen@city.iwata.lg.jp

【具体策】

側道橋の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
72,864千円	令和4年度	令和5年度

【課題と整備効果】

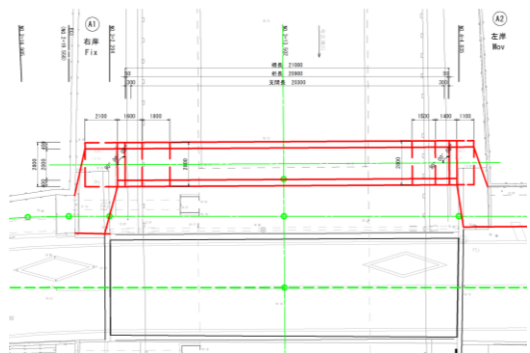
通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。側道橋を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した

【苦労した点、工夫した点等】

現場周辺が狭隘であり、橋台築造時の施工ヤードの確保に苦労した。子ども向けの現場見学会を実施し、建設業の理解促進に努めた。



平面図



Before ▶ After



【事例34】 掛川市道 仁藤町山口橋線 (掛川市 成滝)

掛川市立西山口小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成29年10月21日)

問い合わせ
掛川市維持管理課
TEL:0537-21-1154
MAIL:tosikei@city.kakegawa.shizuoka.jp

【**具体策**】

側道橋の設置
グリーンベルト設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
188,000千円	平成29年度	令和4年度

【**課題と整備効果**】

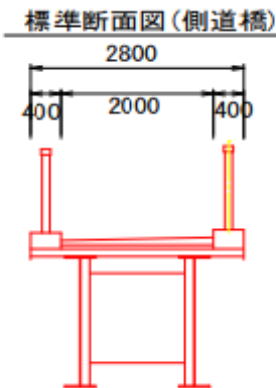
橋梁部分の幅員が狭く歩行空間が確保できないため危険であった。
側道橋を設置したことで安全な登下校が可能となった。

【**苦勞した点、工夫した点等**】

側道橋だけでなく、約200mに渡ってグリーンベルトを設置し、歩行空間の確保に努めた。



標準横断面図



Before ▶ After



【事例35】袋井市道 北574号線（袋井市 浅羽山の手）

袋井市立浅羽東小学校通学路における交通安全対策

【具体策】

歩道の設置
ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
44,205千円	令和4年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

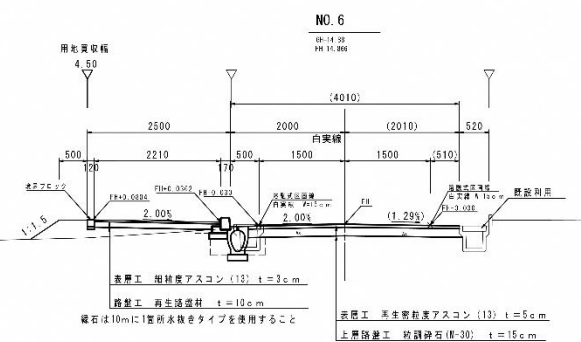
【苦労した点、工夫した点等】

歩道を設置するだけでなく、交差点部にラバーポールを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。

問い合わせ
袋井市都市建設部維持管理課
TEL: 0538-44-3130
MAIL: kensetsu@city.fukuroi.shizuoka.jp



標準横断図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例36】菊川市道 野添堂坂2号線（菊川市 加茂）

菊川市立加茂小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年8月26日）

【具体策】

側溝蓋設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
814千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。側溝蓋を設置し、歩行スペースを確保することで、児童が安心して登下校できる道路環境を整備した。

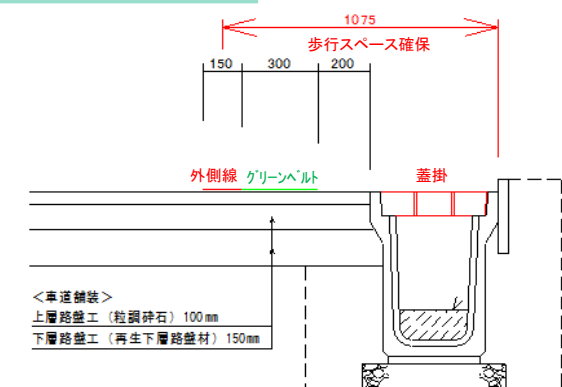
【苦勞した点、工夫した点等】

溝蓋設置と併せ、区画線及びグリーンベルトを引き直し、歩行スペースの明確化を図った。

問い合わせ
菊川市建設経済部建設課
TEL: 0537-35-0934
MAIL: kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例37】湖西市道 横須賀橋郷北線（湖西市 鷺津）

湖西市立鷺津小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成26年10月6日)

問い合わせ
湖西市都市整備部土木課
TEL: 053-576-4547
MAIL: dobokukikaku@city.kosai.lg.jp

【具体策】
歩道の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
127,000千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

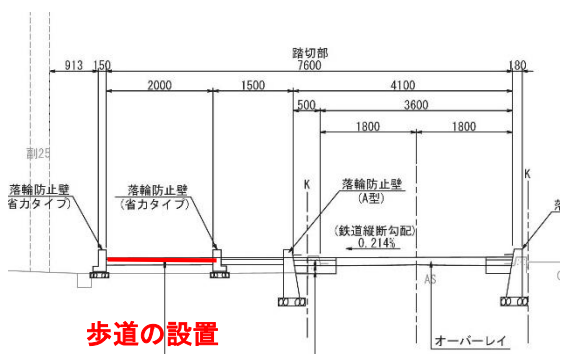
通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。歩道を設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

踏切内への歩道の設置であり、JRとの調整に時間を要した。通行止にしての工事のため、事前に迂回路の交通安全対策を行った。



標準横断図



Before ▶ After



1 一般部（単路部）の対策

(2) 自動車への注意喚起



1 一般部（単路部）の対策

(2) 自動車への注意喚起

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例38	静岡県	一般県道 原木沼津線	清水町 徳倉	ドットライン設置等
事例39	静岡県	一般県道 沼津小山線	御殿場市 西田中	ラバーポール設置
事例40	下田市	下田市道 立野お吉ヶ淵線	下田市 河内	路肩のカラー舗装
事例41	伊東市	伊東市道 保代口1号線	伊東市 玖須美元和田	外側線の修繕等
事例42	三島市	三島市道 梅名23号線	三島市 梅名	通学路看板の設置
事例43	御殿場市	御殿場市道 3545線	御殿場市 神山	ラバーポールの設置
事例44	長泉町	長泉町道 城山尾尻線	長泉町 下長久窪	車道のカラー舗装
事例45	島田市	島田市道 御仮屋10号線	島田市 御仮屋町	通学路路面表示の設置
事例46	焼津市	焼津市道 1080号線	焼津市 上泉	外側線設置等
事例47	藤枝市	藤枝市道 内谷小岩下藤太丸線	藤枝市 岡部町内谷	ラバーポール設置
事例48	藤枝市	藤枝市道 内瀬戸大西町線	藤枝市 上青島	路面表示等
事例49	菊川市	菊川市道 公文名富田線	菊川市 富田	区画線の設置等



【事例38】一般県道 原木沼津線（清水町 徳倉）

清水町立南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年11月14日）

【具体策】

ドットライン設置
ラバーポールの設置
反射塗料塗布

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,000千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

歩道が整備されているが、車通りの多いカーブ区間であり車のスピードが出やすい場所であった。ドットラインやラバーポールの設置、また夜間に光る反射塗料を縁石部に塗布することで、ドライバーに注意を促し、安心して登下校できるようになった。

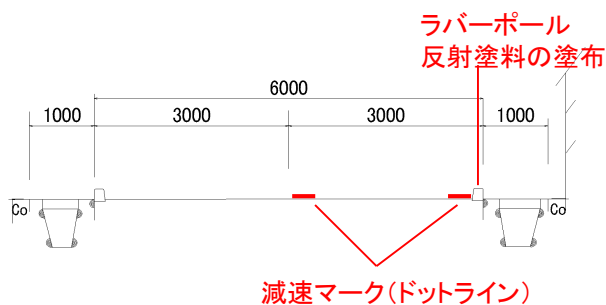
【苦労した点、工夫した点等】

自動車の速度抑制対策としてドットラインのみを施工する計画であったが、その後同地点で自動車の単独事故（死亡事故）が発生した。冬場の薄暗い時期の下校等を考慮し、夜間の視認性向上を目的としたラバーポール、反射塗料の塗布を実施した。

問い合わせ
静岡県沼津土木事務所工事第1課
TEL: 055-920-2215
MAIL: numado-kouji1@pref.shizuoka.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例39】一般県道 沼津小山線（御殿場市 西田中）

社会福祉法人雲柱社高根学園保育所の施設外活動における交通事故対策(合同点検:令和元年8月27日)

問い合わせ
 静岡県沼津土木事務所御殿場支所
 TEL:0550-84-6100
 MAIL:numado-gotenba@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】

ラバーポールの設置

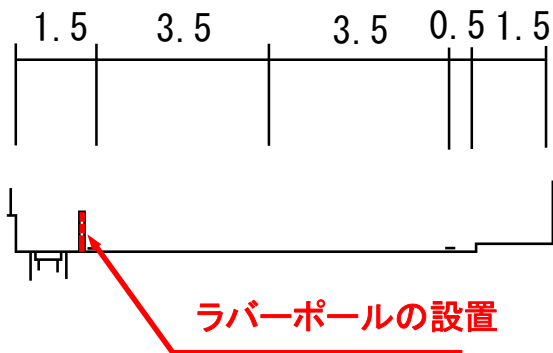
事業費	工事開始年度	工事完了年度
120千円	令和2年度	令和2年度

【課題と整備効果】

交差点左折車が路側帯側にはみ出すことで、歩行者との接触の危険性があった。ラバーポールを設置することにより、左折車に対する路側帯への通行を抑制を促したことで、園児が安心して歩行できるようになった。



標準横断図



Before ▶ After



【事例40】下田市道 立野お吉ヶ淵線（下田市 河内）

下田市立稲生沢小中学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成28年10月31日)

【具体策】

路肩のカラー舗装

事業費	工事開始年度	工事完了年度
31,300千円	平成29年度	平成30年度

【課題と整備効果】

路肩にカラー舗装したことにより、ドライバーに対して歩行者への注意を促し、安心して登下校できるようになった。

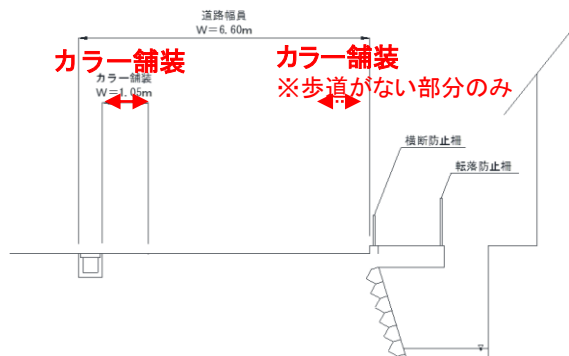
【苦労した点、工夫した点等】

カラー舗装工の採用色について、景観審議会にかけ安全面だけでなく景観にも配慮した。

問い合わせ
下田市建設課
TEL: 0558-22-2219
MAIL: kensetsu@city.simoda.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例41】伊東市道 保代口1号線（伊東市 玖須美元和田）

伊東市立南小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和5年8月2日)

問い合わせ
伊東市建設部建設課
TEL:0557-32-1753
MAIL:kensetu@city.ito.shizuoka.jp

【具体策】

外側線の修繕
ドットラインの設置

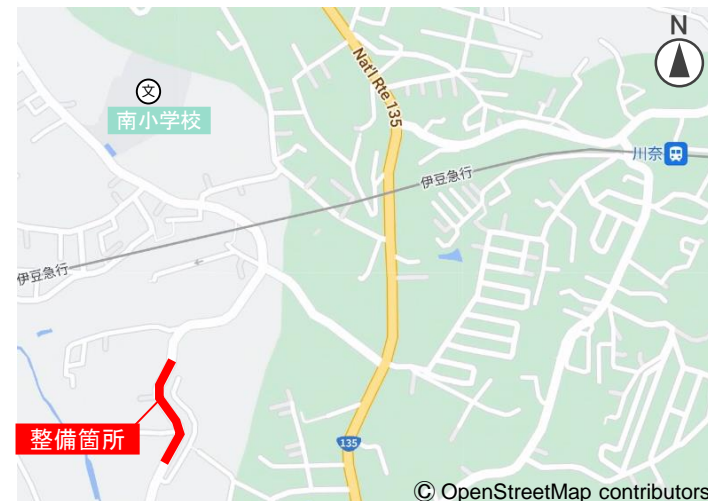
事業費	工事開始年度	工事完了年度
500千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

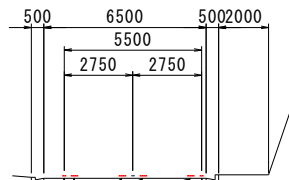
カーブが続くため、車両が走行時に路側帯にはみ出すことがあり危険だった。外側線を塗り直し、ドットラインを設置することで、速度抑制効果を図った。

【苦勞した点、工夫した点等】

外側線を塗り直すだけでなく、ドットラインを設置することで、視覚効果により通行車両の速度抑制を促進し、歩行者の安全確保を図った。



標準横断図



区画線（外側線）設置

区画線（ドットライン）設置

外側線の塗り直し
ドットラインの設置

Before ▶ After



整備前



整備後

【事例42】三島市道 梅名23号線（三島市 梅名）

三島市立中郷小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和5年9月29日）

問い合わせ
三島市都市基盤部土木課
TEL: 055-983-2638
MAIL: doboku@city.Mishima.shizuoka.jp

【具体策】

通学路看板の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
86千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

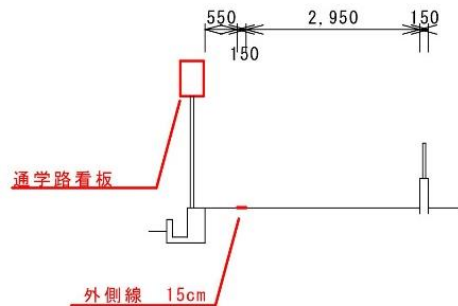
通学路を標示する看板が設置されているが、経年劣化により損傷しているため、再設置することで車両への注意喚起を行うことができた。

【苦勞した点、工夫した点等】

通学路看板を再設置することで、ドライバーへの注意喚起を促し、安全確保につとめた。



標準横断図



Before ▶ After



【事例43】 御殿場市道 3545線 (御殿場市 神山)

御殿場市立神山小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和3年10月4日)

【具体策】

ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
100千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

通学路に歩道がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。路肩と車道を区画し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

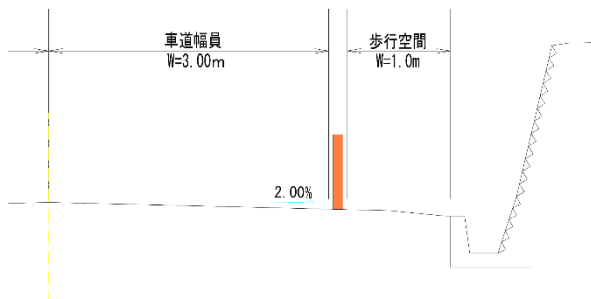
【苦勞した点、工夫した点等】

ラバーポールを設置するだけでなく、土留め擁壁、側溝内の除草伐採作業を行い、ドライバー、歩行者の視認性確保に努めた。

問い合わせ
御殿場市都市建設部管理維持課
TEL: 0550-82-4233
MAIL: kanriji@city.gotemba.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



【事例44】長泉町道 城山尾尻線（長泉町 下長久窪）

長窪保育園の駐車場から園への横断歩道における交通安全対策（合同点検：令和元年9月17日）

問い合わせ
 長泉町地域防災課
 TEL: 055-989-5505
 MAIL: bousai@town.nagaizumi.lg.jp

【具体策】

車道のカラー舗装

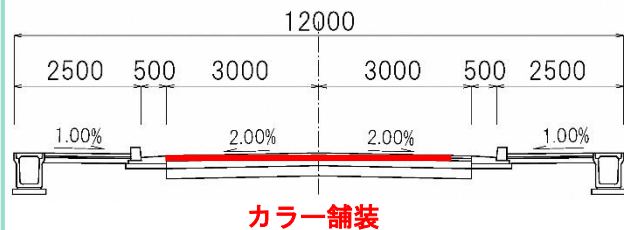
事業費	工事開始年度	工事完了年度
480千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

歩行者が横断しようとしたところ、車両が停車しないため、安全を確保できないことがあり、横断歩道手前のドットラインに加えて、カラー舗装することで、ドライバーに注意を促し、園児がより安心して通行できるようになった。



標準横断図



Before ▶ After



【事例45】 島田市道 御仮屋10号線 (島田市 御仮屋町)

島田市立島田第五小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年7月27日)

問い合わせ
 島田市都市基盤部すぐやる課
 TEL: 0547-36-7152
 MAIL: suguyaru@city.shimada.lg.jp

【具体策】
 通学路路面表示の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
158千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

住宅地内の通過車両が多い狭小道路で、児童と車両の接触が懸念されていたが、路面表示により注意喚起の効果が向上した。

【苦勞した点、工夫した点等】

通過車両への注意喚起に絞って対策を講じた。



Before ▶ After



【事例46】焼津市道1080号線（焼津市 上泉）

焼津市立大井川西小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和元年7月11日)

問い合わせ
 焼津市道路課
 TEL: 054-626-2109
 MAIL: douro@city.yaizu.lg.jp

【具体策】

- 外側線の設置
- グリーンベルトの設置

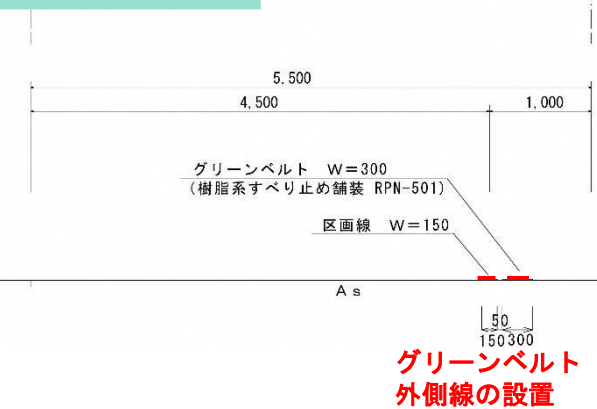
事業費	工事開始年度	工事完了年度
5,351千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

以前は路側帯がなかったが、グリーンベルトと外側線の設置をしたことにより、対策前より児童が安心して登下校できるようになった。



標準横断図



Before ▶ After



【事例47】 藤枝市道 内谷小岩下藤太丸線 (藤枝市 岡部町 内谷)

藤枝市立岡部小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年11月24日)

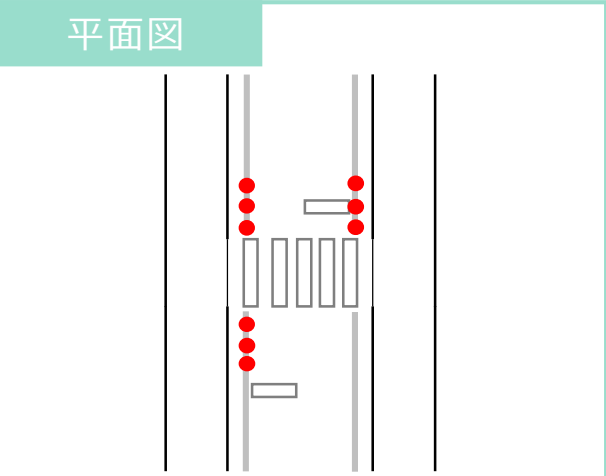
問い合わせ
 藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
 TEL:054-643-3169
 MAIL:doro@city.fujieda.lg.jp

【具体策】
 ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
20千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】
 スピードを出す車両が多く、横断歩道を渡るときに危険。ラバーポールを横断歩道前後に設置し、狭さく効果と自動車の視認性が向上した。

【苦労した点、工夫した点等】
 横断歩道の視認性向上だけではなく、車両スピードの抑制効果のため、区画線上にラバーポールを設置し、安全確保に努めた。



【事例48】 藤枝市道 内瀬戸大西町線（藤枝市 上青島）

藤枝市立青島小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和3年9月21日)

【具体策】

路面表示
ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
40千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

左折車両から横断歩道を渡る児童が見えにくく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。路面表示やラバーポール設置により車両に注意喚起することで、児童が安心して登下校できる通学路を創出した。

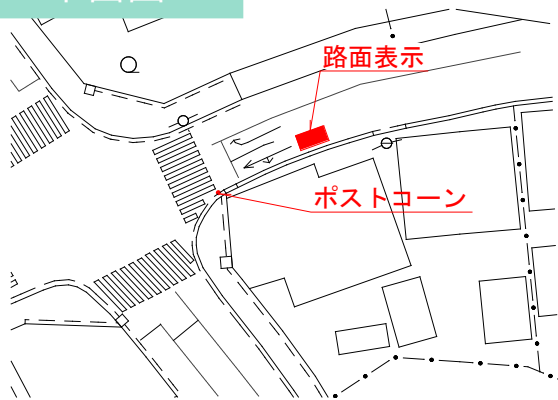
【苦労した点、工夫した点等】

通学路の注意喚起として路面表示を設置。車両の左折の内回りを防止するため通学路と表示されたラバーポールを設置し、通学路の安全確保に努めた。

問い合わせ
藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
TEL: 054-643-3169
MAIL: doro@city.fujieda.lg.jp



平面図



Before ▶ After

整備前



整備後



【事例49】 菊川市道 公文名富田線（菊川市 富田）

菊川市立河城小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年8月27日）

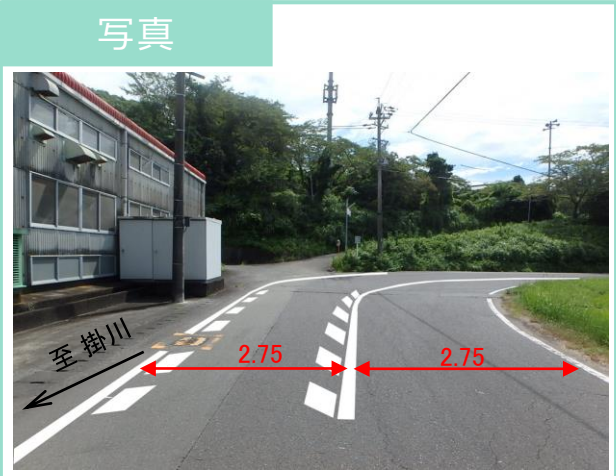
問い合わせ
 菊川市建設経済部建設課
 TEL: 0537-35-0934
 MAIL: kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp

【具体策】
 区画線の設置
 外側線・減速表示設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
6,292千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】
 通学路に中央線がなく、登校時も含め、カーブ部分で減速せず大きく膨らみ通行する車両同士、及び児童との接触事故が懸念されていた。中央線を設置し、児童が安心して登下校できる道路交通環境へ整備した。

【苦労した点、工夫した点等】
 中央線を設置するだけでなく、カーブ部分に減速標示を設置することで、ドライバーへ自然に減速を促し、より児童が安心して登下校できる道路交通環境へ整備した。



1 一般部（単路部）の対策

(3) 自動車の視認性向上



1 一般部（単路部）の対策

(3) 自動車への視認性向上

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例50	下田市	下田市道 吉佐美田牛線	下田市 吉佐美	カーブミラー移設等



【事例50】下田市道 吉佐美田牛線（下田市 吉佐美）

下田市立朝日小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年10月15日）

【具体策】

カーブミラーの移設
外側線の引き直し
車道のカラー舗装

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,500千円	平成26年度	平成27年度

【課題と整備効果】

カーブ地点であったため、視認性が高いとは言えなかったが、カーブミラーを移設したことにより、ドライバーが児童をより確実に視認することができるようになった。また、外側線の引き直しにより、車の走行位置がより明確になったことや車道をカラー舗装したことにより、ドライバーに対する速度抑制を促したことで、安心して登下校できるようになった。

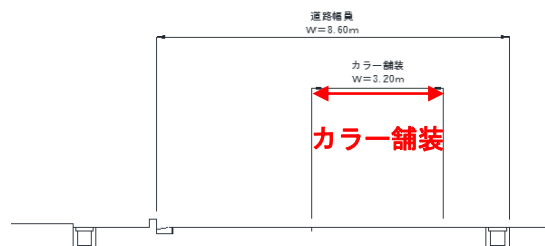
【苦労した点、工夫した点等】

視認性の向上に加え、カラー舗装を設置したことにより、横断歩道前の減速を促した。

問い合わせ
下田市建設課
TEL: 0558-22-2219
MAIL: kensetsu@city.shimoda.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



1 一般部（単路部）の対策

（4）自転車と歩行者の接触防止



1 一般部（単路部）の対策

(4) 自転車と歩行者の接触防止

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例51	伊豆の国市	伊豆の国市道 葎434号線	伊豆の国市 南條	注意喚起シール設置
事例52	菊川市	菊川市道 蓮ノ前方吹線	菊川市 加茂	ピクトグラム設置等



【事例51】伊豆の国市道 葦434号線（伊豆の国市 南條）

伊豆の国市立葦山南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年9月5日）

【具体策】

注意喚起シールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
94千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

駐輪場が近く、自転車と歩行者がすれ違う箇所であるが、道幅が狭く、ポール等の設置等の対策が困難であった。注意喚起シールを設置したことにより、自転車が注意して通行するようになり、歩行者が安心して通行できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

道幅が狭く、ポールや注意看板等スペースを必要とする対策が困難であった。

問い合わせ
伊豆の国市建設課
TEL: 055-948-2908
MAIL: kensetu@city.izunokuni.shizuoka.jp



Before ▶ After



【事例52】菊川市道 蓮ノ前方吹線（菊川市 加茂）

菊川市立加茂小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年7月22日）

【具体策】

ピクトグラム設置
矢羽根の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
410千円	令和元年度	令和元年度

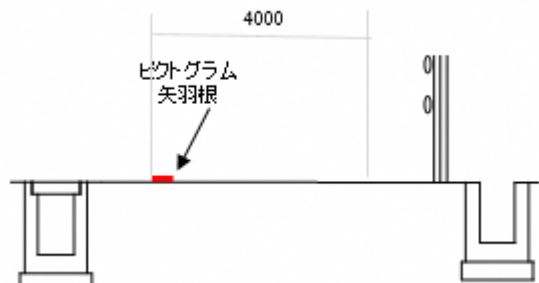
【課題と整備効果】

自転車の走行位置が明確でなく、歩行者との接触の可能性が高い状況にあった。ピクトグラムと矢羽根を設置し、自転車利用者に対して走行位置を示し、歩行者との接触の可能性を低下させた。

問い合わせ
菊川市建設課
TEL: 0537-35-0902
MAIL: kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp



標準横断図



Before ▶ After



2 交差点部の対策

(1) 歩行空間の確保



2 交差点部の対策

(1) 歩行空間の確保

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例53	静岡県	一般県道 袋井小笠線	袋井市 大門	車両用防護柵設置
事例54	静岡県	主要地方道 磐田天竜線	磐田市 東原	ボラードの設置
事例55	南伊豆町	南伊豆町道 加納前ノ原線	南伊豆町 加納	歩行者溜まりの設置
事例56	伊東市	伊東市道 伊豆高原・東拓線	伊東市 八幡野	横断歩道の撤去等
事例57	島田市	島田市道 横岡新田1号線	島田市 横岡新田	歩行者溜まりの設置
事例58	島田市	島田市道 伊太本線	島田市 伊太	外側線設置等
事例59	焼津市	国道150号	焼津市 下江留	防護柵設置
事例60	焼津市	焼津市道 鰯ヶ島八楠線×焼津中央高校線	焼津市 塩津	防護柵設置等
事例61	藤枝市	藤枝市道 藤枝葉梨線	藤枝市 若王子三丁目	ガードパイプ設置等
事例62	吉田町	吉田町道 馬場東村線	吉田町 住吉	横断指導線の設置
事例63	磐田市	磐田市道 中平松東平松幹線	磐田市 中平松	車止めの設置
事例64	磐田市	磐田市道 西貝塚明ヶ島線	磐田市 明ヶ島	ボラードの設置等
事例65	磐田市	磐田市道 御厨福田幹線	磐田市 鎌田	ボラードの設置
事例66	菊川市	菊川市道 岳洋通り線	菊川市 下平川	外側線引き直し
事例67	菊川市	菊川市道 河東線	菊川市 河東	転落防止柵設置
事例68	森町	森町道 下宿後割線	森町 森	外側線設置等



【事例53】一般県道 袋井小笠線（袋井市 大門）

高南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年度）

【具体策】

車両用防護柵の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
500千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

児童や中学生などの信号待ち時の安全確保が課題となっていた。防護柵を設置し、児童の安全を確保した。

【苦労した点、工夫した点等】

地下埋設物に注意し、安全な工事に努めた。

問い合わせ

静岡県袋井土木事務所企画検査課

TEL: 0538-42-3216

MAIL: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp



Before ▶ After



【事例54】主要地方道 磐田天竜線（磐田市 東原）

磐田市立豊田東小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年9月1日)

問い合わせ
 静岡県袋井土木事務所工事課
 TEL: 0538-42-3219
 MAIL: fukudo-kouzi1@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】
ボラードの設置

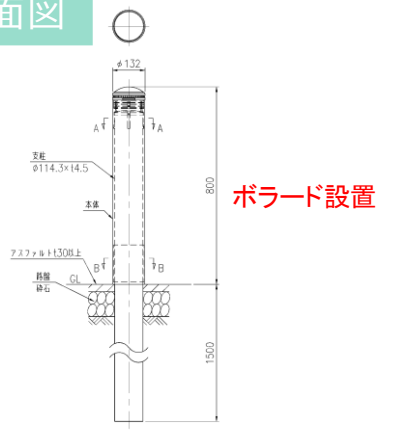
事業費	工事開始年度	工事完了年度
3,223千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】
 登下校時に歩道への車両の飛び込み事故が懸念されていた。
 交差点歩行者だまりにボラードを設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦勞した点、工夫した点等】
 ボラードには高輝度反射シートを施すことで、夜間においてもドライバーへの注意喚起を促し、安全の確保に努めた。



ボラード断面図



Before ▶ After



【事例55】南伊豆町道 加納前ノ原線（南伊豆町 加納）

南伊豆町立南中小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成24年8月23日)

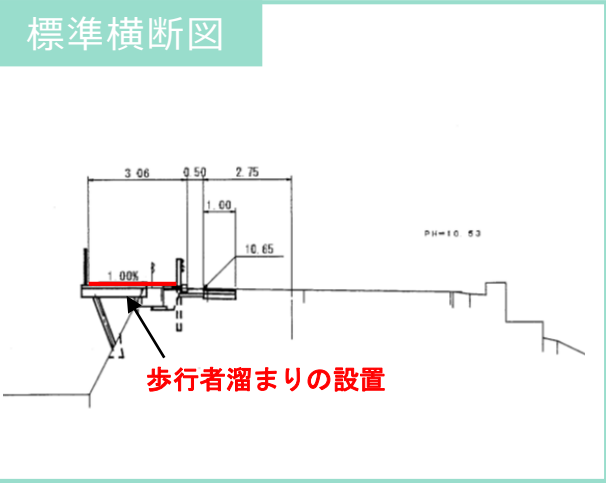
問い合わせ
南伊豆町地域整備課
TEL: 0558-62-6277
MAIL: tseibi@town.minamiizu.shizuoka.jp

【具体策】
歩行者溜まりの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
5,000千円	平成25年度	平成25年度

【課題と整備効果】
歩行者溜まりがなく、横断歩道前で待機する場所が狭く車両と接触する可能性が高かった。歩行者溜まりを整備することにより、安心して待機できるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】
対策コストを縮減するため、用地補償を必要としない張出歩道とした。



【事例56】伊東市道 伊豆高原・東拓線（伊東市 八幡野）

伊東市立八幡野小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和4年7月26日）

【具体策】

横断歩道の撤去
歩行者溜りの確保

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,530千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

坂道を下ってくる車から横断歩道を渡る児童が見えにくく危険だった。
横断歩道を撤去し、付近の横断歩道を利用してもらうとともに、交差点部の歩行者溜りの確保を行い、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

危険な横断歩道を撤去するだけでなく、交差点部の主従関係を明確にするとともに、ラバーポール設置による巻き込み事故防止措置を施すことで、安全な歩行者空間を確保した。

問い合わせ

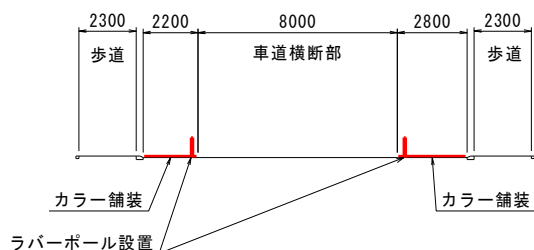
伊東市建設部建設課

TEL: 0557-32-1753

MAIL: kensetu@city.ito.shizuoka.jp



標準横断図



横断歩道の撤去、中央線設置
歩行者溜りの確保
（カラー舗装、ラバーポール）

Before ▶ After



整備前



整備後

【事例57】島田市道 横岡新田1号線（島田市 横岡新田）

島田市立五和小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成24年8月8日）

【具体策】

歩行者溜まりの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
4,300千円	平成27年度	平成29年度

【課題と整備効果】

歩行者溜まりがなく、横断歩道前で待機する場所が狭かったため、車両と児童が接触する可能性が高かった。歩行者溜まりを整備することにより、安心して児童が待機できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

道路用地の残地を活用した。

問い合わせ
島田市すぐやる課
TEL:0547-36-7181
MAIL:suguyaru@city.shimada.lg.jp



Before ▶ After



【事例58】島田市道 伊太本線（島田市 伊太）

島田市立伊太小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和5年7月24日)

【具体策】

外側線・グリーンベルト設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
300千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路の道幅が狭く、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。児童が歩く場所を明確にし、車両に注意喚起をする。

【苦勞した点、工夫した点等】

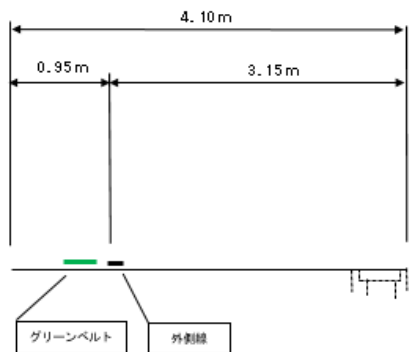
道幅が狭く電柱等の支障物件も点在し、また、交通量も多いことから外側線及びグリーンベルトの設置場所の選定に苦勞した。

整備後は、歩行空間の確保により車両通行空間が制限されたため、車両速度の抑制が図れた。

問い合わせ
島田市 都市基盤部すぐやる課
TEL(0547)36-7152
MAIL: suguyaru@city.shimada.lg.jp



標準横断面図



Before ▶ After



焼津市立大井川西小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和4年8月25日）

問い合わせ
焼津市建設部道路課
TEL: 054-626-1121
MAIL: douro@city.yaizu.lg.jp

【具体策】 防護柵設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
400千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

通行量の多い交差点が通学路になっており、信号待ちの安全性や右左折時の巻き込み事故が懸念されていた。歩行者溜まりへ防護柵を設置することで、児童が安心して利用できる交差点を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

柵の設置に併せ、青信号の時間を警察と協議し、児童が余裕を持って渡れるよう施した。



平面図



Before ▶ After



【事例60】焼津市道 鰯ヶ島八楠線×焼津市道 焼津中央高校線（焼津市 塩津）

焼津市立焼津西小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年8月）

問い合わせ
 焼津市建設部道路課
 TEL: 054-626-1121
 MAIL: douro@city.yaizu.lg.jp

【具体策】

防護柵、ポストコーン設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
400千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

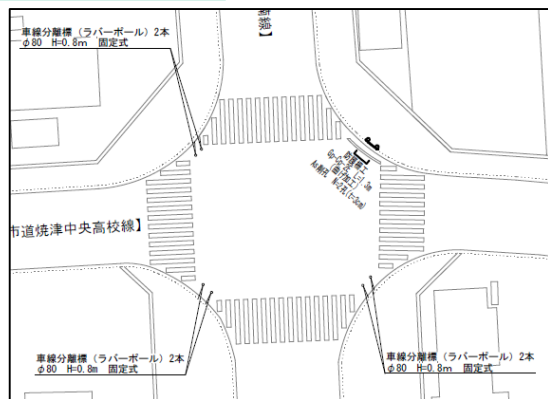
通行量の多い交差点が通学路になっており、信号待ちの安全性や右左折時の巻き込み事故が懸念されていた。歩行者溜まりへ防護柵を設置することで、児童が安心して利用できる交差点を創出した。

【苦勞した点、工夫した点等】

防護柵を設置するスペースを確保するために、横断歩道の位置調整が可能か警察に協議を行った。



平面図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例61】藤枝市道 藤枝葉梨線（藤枝市 若王子三丁目）

藤岡幼稚園、藤枝保育園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策(合同点検:令和元年6月12日)

【具体策】

ガードパイプの設置
車止めの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
3,000千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

車両同士の接触事故発生時における歩道への侵入を防止するため、交差点の歩道内の老朽化したガードレールの取替、ガードパイプの設置、設置スペースがあまりない箇所には車止めを設置し、園児の安全性が向上した。

【苦労した点、工夫した点等】

蓮華寺池公園に近いため、既設の老朽化したガードレールを景観に配慮したガードパイプに改修した。

問い合わせ
藤枝市都市建設部基盤整備局道路課
TEL: 054-643-3169
MAIL: doro@city.fujieda.lg.jp



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例62】吉田町道 馬場東村線（吉田町 住吉）

吉田町立住吉小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和4年8月4日）

【具体策】

横断指導線の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
140千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

通学路には歩道があるが、脇道から出てくる車両のスピードが速く、児童との接触のおそれがあった。横断指導線を設置することで、ドライバーに対し交差点であることを明確にした。

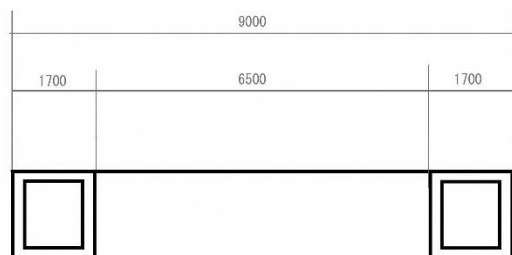
【苦勞した点、工夫した点等】

横断指導線を施工する部分が道路側溝上であり、そのまま指導線を引いてもドライバーから視認しづらいため、横断指導線内にカラー舗装も施工した。

問い合わせ
吉田町役場建設課
TEL: 0548-33-2124
MAIL: kensetsu@town.yoshida.shizuoka.jp



標準横断図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例63】磐田市道 中平松東平松幹線（磐田市 中平松）

磐田市立竜洋東小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年8月27日）

【具体策】

車止めの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
323千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

車止めを設置することにより、車が歩道に乗り上げた際も被害を抑えることができるようになったため、信号待ちの児童が安心して待機できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

ガードパイプの設置を検討したが、地下埋設物があり車止めを設置した。

問い合わせ
 磐田市道路河川課
 TEL: 0538-37-4808
 MAIL: dorokasen@city.iwata.lg.jp



車止めの設置 = 3本 × 1箇所
 1本 × 3箇所



Before ▶ After

整備前

整備後

【事例64】 磐田市道 西貝塚明ヶ島線 (磐田市 明ヶ島)

磐田市立田原小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和4年8月29日)

【具体策】

ボラードの設置
横断歩道・停止線の引き直し

事業費	工事開始年度	工事完了年度
260千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

通学路に歩道・路側帯がなく、登下校時に車両と児童の接触事故が懸念されていた。横断歩道・停止線の引き直しとボラードの設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦労した点、工夫した点等】

横断歩道・停止線の引き直しをするだけでなく、交差点部にボラードを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、安全確保に努めた。

問い合わせ
磐田市建設部道路河川課
TEL: 0538-37-4808
MAIL: dorokasen@city.iwata.lg.jp



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例65】磐田市道 御厨福田幹線（磐田市 鎌田）

磐田市立東部小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和4年8月29日）

【具体策】

ボラードの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
510千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

信号設置に伴い、歩行者だまりを守るものがないため、ボラードを設置し、児童が安心して登下校できる空間を創出した。

【苦勞した点、工夫した点等】

交差点部にボラードを設置することで、ドライバーに注意喚起を促し、歩行者の安全な歩行空間の確保に努めた。

問い合わせ
磐田市建設部道路河川課
TEL: 0538-37-4808
MAIL: dorokasen@city.iwata.lg.jp



Before ▶ After



【事例66】菊川市道 岳洋通り線（菊川市 下平川）

菊川立岳洋中学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年9月)

問い合わせ
 菊川市役所建設課
 TEL: 0537-35-0902
 MAIL: kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp

【具体策】

外側線引き直し

事業費	工事開始年度	工事完了年度
982千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

外側線が摩耗し、歩行空間が確保できていなかったが、引き直すことで、歩行空間を確保した。

【苦労した点、工夫した点等】

通学路であるため、児童が通る時間帯を避けて施工した。



Before ▶ After



【事例67】菊川市道 河東線（菊川市 河東）

菊川市立南小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年9月)

【具体策】

転落防止柵設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
474千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

子供が側溝に転落する恐れがあり危険であったが、防止柵を設置し、転落しないようにした。

【苦勞した点、工夫した点等】

側溝に合わせて、起終点まで柵を設置し、子供が容易に入らないようにした。

問い合わせ

菊川市役所建設課

TEL: 0537-35-0902

MAIL: kensetsu@city.kikugawa.shizuoka.jp



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例68】森町道 下宿後割線（周智郡 森町 森）

森町立森小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和3年9月16日)

【具体策】

外側線の設置
グリーンベルトの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
1,339千円	令和3年度	令和4年度

【課題と整備効果】

通学路になっている交差点だが、見通しが悪く接触事故が懸念されていた。グリーンベルトの設置及び外側線の引き直しにより児童が安心して登下校できる空間を創出した。

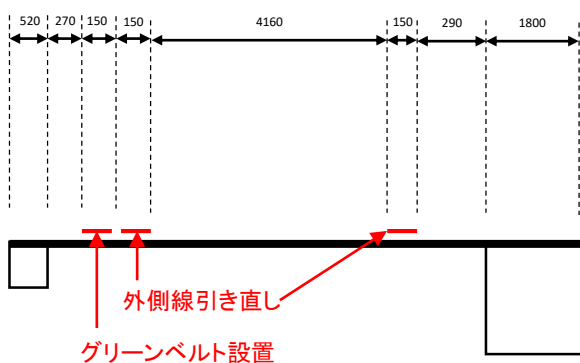
【苦勞した点、工夫した点等】

交差点マークを設置することで注意喚起を促し、安全確保に努めた。

問い合わせ
森町建設課
TEL: 0538-85-6325
MAIL: kensetsu@town.shizuoka-mori.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



2 交差点部の対策

(2) 自動車への注意喚起



2 交差点部の対策

(2) 自動車への注意喚起

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例69	静岡県	国道150号	牧之原市 静波	ラバーポール設置
事例70	静岡県	一般県道 磐田掛川線	袋井市 浅岡	外側線の引き直し
事例71	熱海市	熱海市道 上多賀本線	熱海市 上多賀	交差点部のカラー舗装等
事例72	熱海市	熱海市道 西山通り線	熱海市 西山町	止まれ文字表示設置等
事例73	伊東市	伊東市道 左城星2号線	伊東市 玖須美元和田	誘導線設置
事例74	三島市	三島市道 光ヶ丘3線	三島市 光ヶ丘3丁目	ポストコーン設置
事例75	伊豆市	伊豆市道 駅前柏久保線	伊豆市 柏久保	交差点部カラー舗装
事例76	島田市	島田市道 岸町南北2号線	島田市 岸町	外側線設置等



【事例69】国道150号（牧之原市 静波）

牧之原市立川崎小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和元年10月15日）

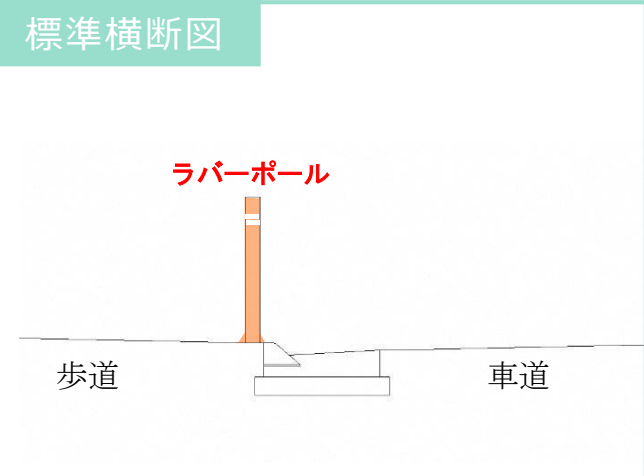
問い合わせ
 静岡県島田土木事務所工事第3課
 TEL: 0547-37-1087
 MAIL: shimada-kouji3@pref.shizuoka.lg.jp

【具体策】
 ラバーポールの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
74千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】
 車が左折時に歩行者溜まり付近を通行することが多く、児童が安心して信号待ちできなかつた。交差点巻き込み部にラバーポールを設置したことにより、ドライバーに対する児童への注意を促し、安心して登下校できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】
 学校関係者等と立ち合いのもと、横断歩道の位置や自転車の通行等を考慮し、最適な対策を決定した。



【事例70】一般県道 磐田掛川線（袋井市 浅岡）

ルンビニ第二保育園に通う園児の散歩コースにおける交通安全対策（合同点検：令和元年9月4日）

【具体策】

外側線の引き直し

事業費	工事開始年度	工事完了年度
30千円	令和元年度	令和元年度

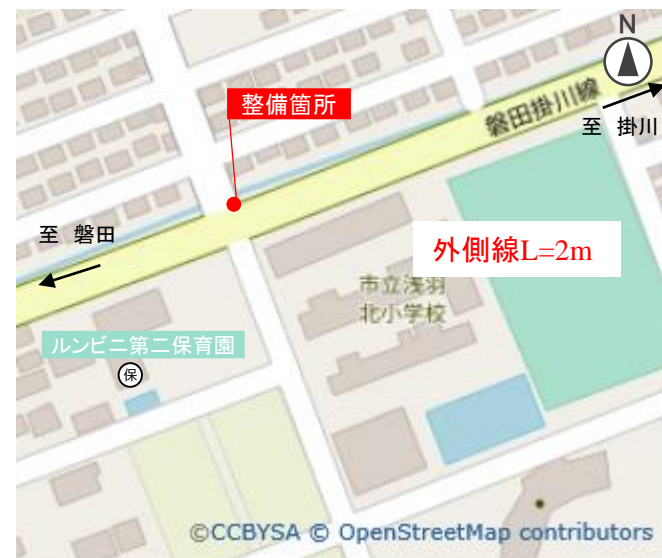
【課題と整備効果】

ドライバーが左折時に歩道付近を通ることがあり、歩道にいる園児が安心して信号待ちすることができなかった。交差点付近の外側線を引き直したことにより、ドライバーに対する歩道付近への通行注意を促し、園児が安心して待機できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

巻込み防止のため、左折車両が大回りするような位置に区画線を設置した。

問い合わせ
静岡県袋井土木事務所企画検査課
TEL: 0538-42-3216
MAIL: fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp



Before ▶ After



【事例71】熱海市道 上多賀本線（熱海市 上多賀）

熱海市立多賀小学校通学路における交通安全対策(合同点検:平成26年10月14日)

【具体策】

交差点部のカラー舗装
交差点鋸の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
990千円	平成27年度	平成27年度

【課題と整備効果】

児童下校時に交差点部が暗いため、児童が安心して歩行できなかった。交差点部に反射タイプのカラー舗装と交差点鋸を設置し、暗くなる時間帯でのドライバーに対する横断歩行者への注意を促し、安心して下校できるようになった。

【苦勞した点、工夫した点等】

暗い交差点を目立たせるため、薄層カラー舗装の仕様の比較検討を行い、夜間の視認性が高い炭化珪素質の反射タイプカラー舗装で施工した。

問い合わせ
熱海市都市整備課
TEL: 0557-86-6403
MAIL: toshiseibi@city.atami.shizuoka.jp



Before ▶ After



【事例72】熱海市道 西山通り線（熱海市 西山町）

熱海市立第一小学校通学路における交通安全対策（合同点検：令和3年9月2日）

問い合わせ

熱海市観光建設部都市整備課

TEL: 0557-86-6403

MAIL: toshiseibi@city.atami.shizuoka.jp

【具体策】

止まれ文字表示設置
強調表示設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
140千円	令和5年度	令和5年度

【課題と整備効果】

変則的な交差点で交通量も多く、急な坂道でスピードも出やすい。

【苦勞した点、工夫した点等】

複雑な交差点への進入時に一時停止させるため、止まれ表示の強調を行い、歩行者の安全確保に努めた。



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例73】伊東市道 左城星2号線（伊東市 玖須美元和田）

伊東市立南小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和元年8月1日)

【具体策】

誘導線の設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
30千円	令和元年度	令和元年度

【課題と整備効果】

主従道路の明示が不十分であったため、校門付近を車両が通行する時、児童との接触や巻き込み事故等が心配された。誘導線を設置し通行空間が明示されたことで運転者の徐行意識が向上し、安心して登下校できるようになった。

問い合わせ
伊東市建設部建設課
TEL: 0557-32-1753
MAIL: kensetu@city.ito.shizuoka.jp



Before ▶ After



【事例74】 三島市道 光ヶ丘3線 (三島市 光ヶ丘 3丁目)

三島市立沢地小学校通学路における交通安全対策(合同点検:令和4年10月6日)

問い合わせ

三島市都市基盤部土木課

TEL:055-983-2638

MAIL:doboku@city.mishima.shizuoka.jp

【具体策】

ポストコーンの設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
130千円	令和4年度	令和4年度

【課題と整備効果】

歩道のない交差点を車両が外側線の内側を通過するため、児童に接触の危険があったが、ラバーポール設置により車両の誘導を行うことができた。

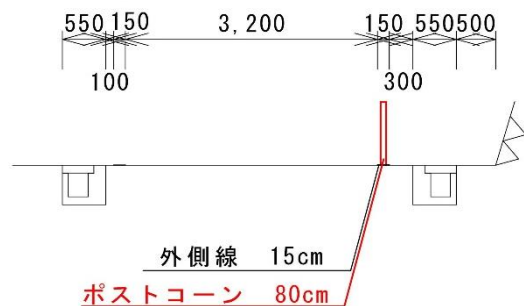
【苦労した点、工夫した点等】

近隣住民の理解を得てラバーポールを設置することで、児童の歩行空間確保やドライバーへの注意喚起を促し、安全確保に努めた。



© OpenStreetMap contributors

標準横断図



Before ▶ After



整備前



整備後

【事例75】伊豆市道 駅前柏久保線（伊豆市 柏久保）

伊豆市立修善寺南小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成29年2月28日）

問い合わせ
伊豆市建設課
TEL: 0558-83-5201
MAIL: kensetsu@city.izu.shizuoka.jp

【具体策】

交差点部のカラー舗装

事業費	工事開始年度	工事完了年度
2,443千円	平成29年度	平成29年度

【課題と整備効果】

道路形状が変則的であるため、横断歩道を児童が安心して歩行できなかった。カラー舗装を施工することで交差点内に進入するドライバーに減速を促すとともに、歩行者への注意を高めることができ、児童が安心して登下校できるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】

交通量が多いため車両全面通行止めにて施工したが、学校を訪れる車両（給食配送車等）への時間調整に苦労した。



Before ▶ After



島田市立六合小学校通学路における交通安全対策(合同点検: 令和5年8月7日)

【具体策】

外側線設置
ラバーポール設置

事業費	工事開始年度	工事完了年度
250千円	令和5年度	令和5年度

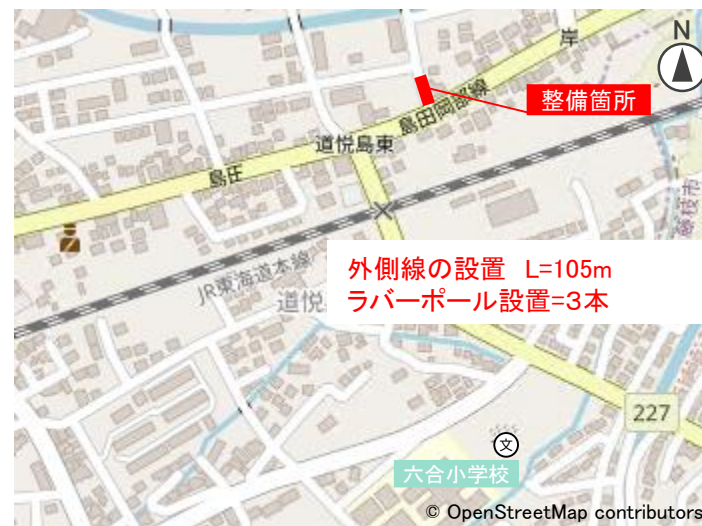
【課題と整備効果】

交差点付近の市道の道路幅が広く、また、県道沿いの西進する歩行者が見えづらい。外側線を東側に設けることで視認性を確保した。

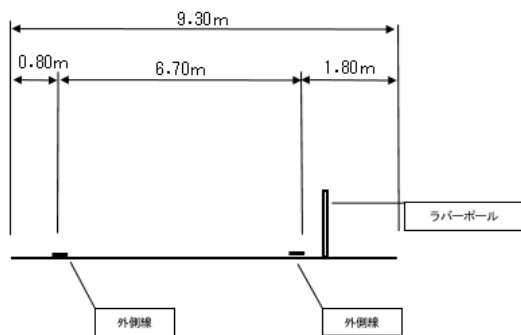
【苦勞した点、工夫した点等】

市道から県道に差し掛かる交差点は、県道を西進する歩行者が見えづらいことから、歩行空間の確保及びドライバーの視認性の確保のために、市道の東側に外側線及びラバーポールを設置した。

問い合わせ
島田市都市基盤部すぐやる課
TEL(0547)36-7152
MAIL:suguyaru@city.shimada.lg.jp



標準横断図



Before ▶ After



整備前



整備後

2 交差点部の対策

(3) 自動車の視認性向上



2 交差点部の対策

(3) 自動車の視認性向上

事例	事業主体	路線名	対策箇所	対策内容
事例77	松崎町	松崎町道 松崎銀座線	松崎町 松崎	カーブミラーの調整



【事例77】松崎町道 松崎銀座線（松崎町 松崎）

松崎町立松崎小学校通学路における交通安全対策（合同点検：平成26年10月30日）

問い合わせ
 松崎町産業建設課
 TEL: 0558-42-3965
 MAIL: kensetsu@town.matsuzaki.lg.jp

【具体策】

カーブミラーの調整

事業費	工事開始年度	工事完了年度
0円	平成26年度	平成27年度

【課題と整備効果】

T字路となっている箇所でも道路幅員もありカーブミラーの位置調整が難しく、以前は低い位置に設置していた。今回、大型車が接触する事例もあり、さらに視界の良い高い位置につけたカーブミラーの調整によりドライバーが確実に児童を視認できるようになった。

【苦労した点、工夫した点等】

職員がカーブミラーの調整をすることで、事業費をかけずに交通安全対策を行うことができた。



Before ▶ After



「静岡どぼくらぶ」ホームページ



静岡県道路局公式Instagram



令和7年1月

静岡県 交通基盤部 道路局 道路整備課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6 (本館2階)

TEL : 054-221-3015 / FAX : 054-221-3565

e-mail : douroseibi@pref.shizuoka.lg.jp